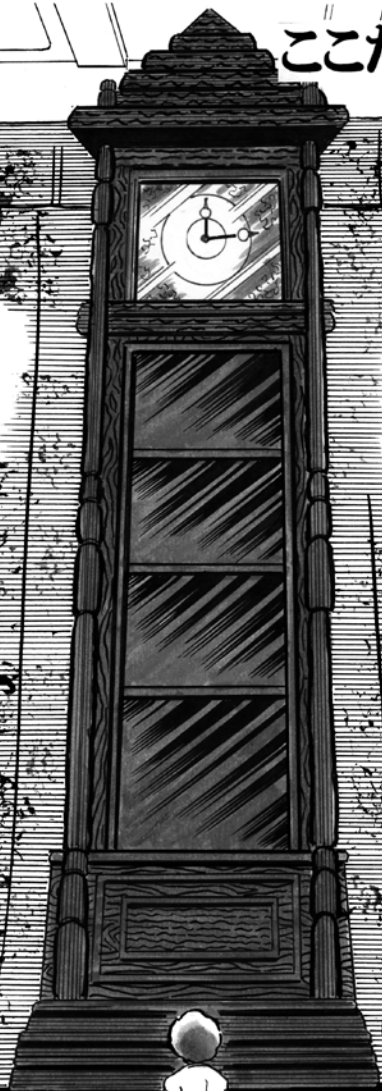


古い置時計

ここだけの話ですが

ボクの家には
天上に届くぐらいの
古い置き時計が
ありました

この家は
じいちゃんが
一代で築いたんだ
じいちゃんは
すごいんだ



たじろえあ

ある日、時計が
止まっていたんだ

止まっていたのを
見たのは
初めてだった



あれ？

故障
かな？



修理業者に依頼したが
どこの業者も原因が
分からなかった

ある日

時計の音が
聞こえた

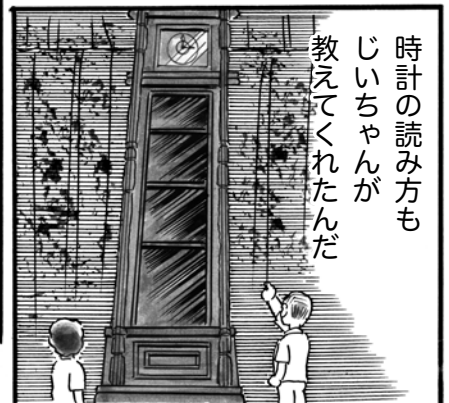
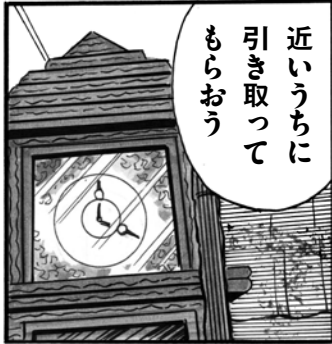
カチカチ

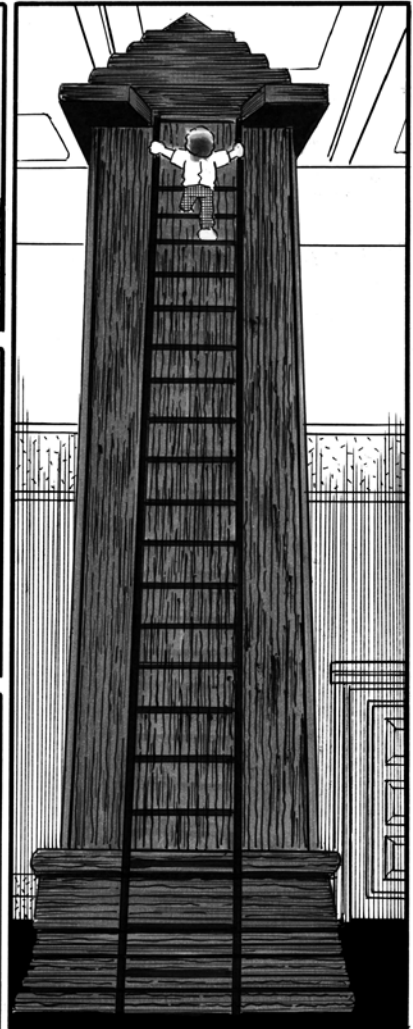
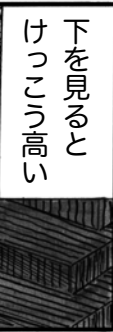
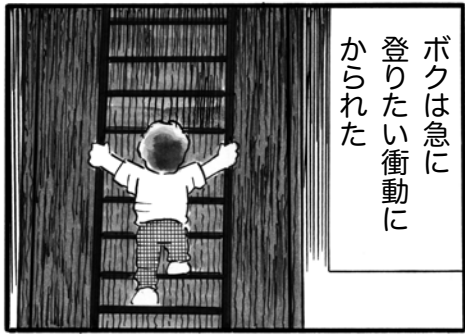
あれ



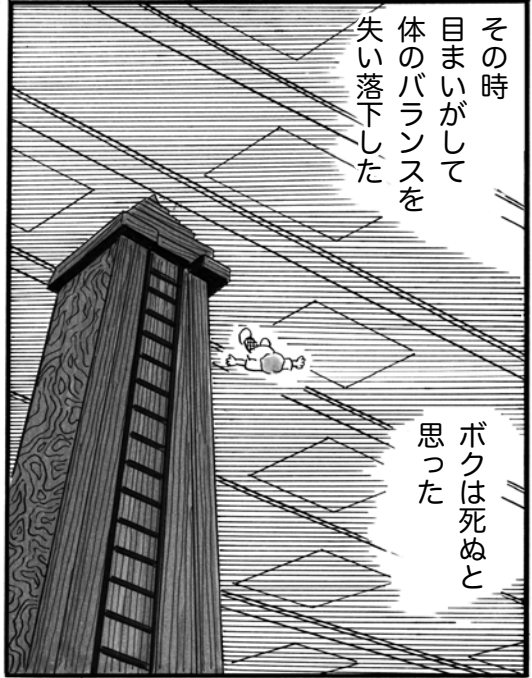
時計は止まったまま
月日が流れた







その時
目まいがして
体のバランスを
失い落下した



ボクは死ぬと
思った

でも不思議な
事が起きたの
です

だって体が
ゆっくり降りて
いったんです



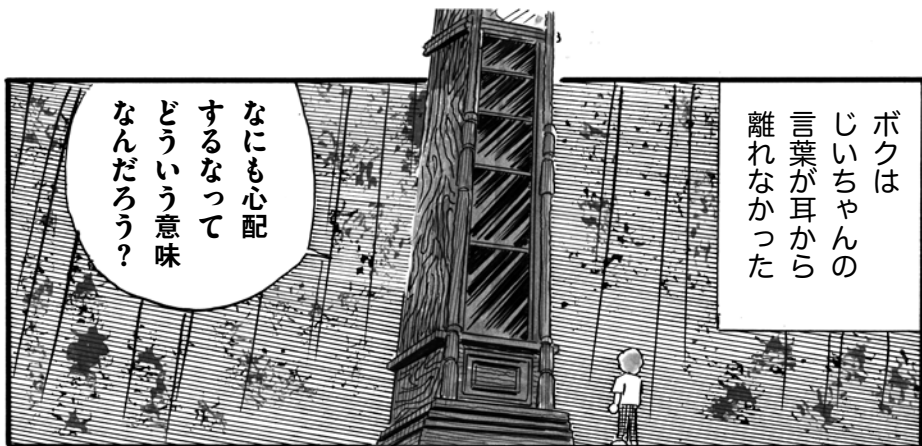
突然、目の前に
じいちゃんが
現れボクに
言ったんだ

なにも心配するな
じいちゃんに
まかせると



それだけ言うと
じいちゃんは
消えた





ボクは
じいちゃんの
言葉が耳から
離れなかった

なにも心配
するなって
どういう意味
なんだろう？



処分する必要が
無くなった

じいちゃんが
直したんだ



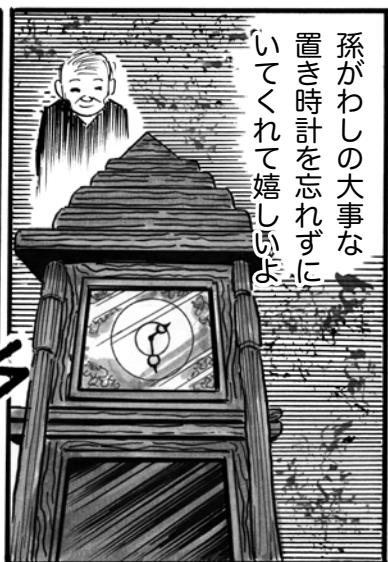
翌日
時計が
動いていた



わしと孫との
思い出の置き時計を
二度と止めないさ

これからの
おまえの成長を
見届けるためにも

カチカチ



孫がわしの大事な
置き時計を忘れずに
いてくれて嬉しいよ

ここだけの話ですが「古い置き時計」おわり